

電気通信大学 平成18年度シラバス

| | | | |
|---------|--------------------------------------|----------|-----------|
| 授業科目名 | ネットワークシステム特論 | | |
| 英文授業科目名 | Topics in Network System Engineering | | |
| 開講年度 | 2006年度 | 開講年次 | |
| 開講学期 | 後学期 | 開講コース・課程 | 博士前期・後期課程 |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 人間コミュニケーション学専攻 | | |
| 担当教官名 | 越前 功 | | |
| 居室 | 非常勤講師 | | |

| | |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| | |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>主題：セキュリティを中心とするネットワーク技術の理解 達成目標：以下についての基本事項を理解すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークセキュリティ，暗号プロトコル ・セキュリティ基盤技術（暗号，生体認証，電子透かし等） ・企業における実用化，社会への普及 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 特にありません。 |

| |
|--|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| <p>H科学生の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションネットワーク <p>他学科学生の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータネットワーク，インターネットの基礎（プロトコル等）に関する科目 ・情報セキュリティ，暗号に関する科目 |

| |
|--|
| 【教科書等】 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸洋一（編）：ユビキタス時代の情報セキュリティ技術，日本工業出版株式会社，2003. ・B. Schneiner, Applied Cryptography, John Wiley & Sons, 1996. のうち暗号プロトコルに関わる部分 |

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

2月19日（月）－23日（金）の集中講義形式です。

- (1) 最初の数回で、ネットワークとセキュリティの基礎的事項を講義します。
- (2) (1)で基礎的事項を習得した後、企業の研究所（川崎，横浜）を見学し，ネットワークセキュリティの産業応用について理解を深めます（交通費は自己負担）。
- (3) その後，(1)(2)の理解に基づいて受講者にプレゼンテーションをしてもらい，討論します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(1) 成績評価方法

授業参加度およびレポートにより評価します。

(2) 評価基準

ネットワークの安全性のために、暗号、認証、電子署名などのセキュリティ技術がどのように利用されるかを理解することが合格ラインです。

【オフィスアワー：授業相談】

電子メールで随時受け付けます（メールアドレスは受講者に伝えます）。

【学生へのメッセージ】

人間の生活の中核部分がデジタル化され、ネットワークが電気や水道のような生活の基盤となっています。ネットワークおよびそれを利用した情報処理システムは、私達の生活をより快適で安全にする一方、

- ・プライバシー情報の漏洩など私達の生活を脅かす原因になりうる、
- ・ネットワークに大きく依存した社会は、その運用が妨げられると大混乱に陥る、
- ・電子的契約やデジタルコンテンツ流通などの新しい社会活動は、技術面でも制度・運用面でもこなれていないので、新しい不正のターゲットとなる、

という大きな問題をかかえています。そこで、これらの問題を防止し、ネットワークの良い面を安心して活用できるようにするセキュリティ技術を中心として、ネットワークについて深く学ぶ場にしたいと考えています。

【その他】